

## 第2学年2組 国語科学習指導案

平成27年11月30日(月) 5校時

担任

司書教諭

学校司書

1. 単元名 どうぶつのひみつをみんなでさぐる  
「ビーバーの大工事」(東京書籍 2年下)

### 2. 単元の目標

- ・動物の生態に興味をもち、本を読んで調べようとしている。(関心・意欲・態度)
- ◎調べたいことについて文章中の大事な言葉を探しながら読み、書き抜く。(読むこと)
- ・書かれていることがらの順序に注意して、内容を読み取る。(読むこと)
- ・前後の語句や文のつながりに気をつけてクイズの「もんだい」と「こたえ」を書く。(書くこと)
- ・「は」「へ」「を」の助詞を正しく使ってクイズを書く。(言語についての知識・理解・技能)

### 3. 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、児童が本を読んで「すごいな」「びっくりした」「初めて知った」というひみつをクイズにして紹介する「動物のひみつクイズ大会をしよう」と設定した。

そのためには文章中から問題や答えとなる大事な言葉や文を捜しながら読み、読み取ったことをまとめる力が必要である。

教材文の見出しごとにビーバーのひみつを見つけながら読ませることで、動物の「体の特徴」「住んでいる場所」「その動物ならではの習性」などの観点に注目して読めるようにする。こうして観点を意識しながら自分が知りたいことに関係する大事な言葉や文に注目して読む力を活かして、自分が紹介したい動物についてクイズを作ることができるようにする。

児童はクイズが大好きである。動物のすごいところやひみつをクイズにしようと投げかけることで、好奇心を高め、意欲的に学習に取り組むことができるだろう。

よって本単元のねらい「文章中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」(C 読むこと エ)を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

### 4. 単元の評価規準

- ・動物の生態に興味をもち、進んで本を読んで調べようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・知りたいことに関係のあるだいたいの言葉を見つけながら読み、書き抜いている。(読むこと)
- ・ビーバーのダム作りの様子や、巣作りの様子を順序に気をつけて読み取っている。(読むこと)
- ・前後の語句や文のつながりに気をつけてクイズの「もんだい」と「こたえ」を書いている。(書くこと)
- ・「は」「へ」「を」の助詞を正しく使ってクイズを書いている。(言語についての知識・理解・技能)

5. 指導計画 (全18時間)

	時	主な学習活動	主な教師の支援と指導上の留意点 (担任○司書教諭◎学校司書☆)	評価規準
第一次	1	<b>学習の見通しをもつ</b> ・教師が作った動物クイズに取り組む。 ・全文を通読し、初発の感想を発表して学習の見通しを立てる。	○教師が作った動物クイズをし、クイズを作りクイズ大会をすることへの意欲を高める ☆子どもたちが読みやすい動物の本をたくさん用意しておく。	【関】生態について関心を持ち、クイズに挑戦したり、読んで感想を述べようとしていたりする。(発言・観察)
	2 3 4 5 6	<b>「ビーバーの大工事」を読み、どこになにかかかっているか、整理する</b> ・見出しごとに驚いたことやすごいだと思ったことをまとめる。 <木を切りたおすビーバー> <ダムを作るビーバー> <すを作るビーバー>	○驚いたことやすごいだと思ったことがクイズ作りに大事になることを伝える。 ○見出しをもとにして、ビーバーの何について書いてあるのか「体のとくちょう」や「住んでいる場所」などの観点を意識して読むようにする。	【読】ビーバーのダム作りや巣作りの様子を、順序に気をつけて読み取っている。 (発言・ワークシート)
第二次	7	<b>クイズの作り方を確かめ、「ビーバーの大工事」をもとにクイズを作る</b> ・ひみつカードを書く	◎クイズの作り方を知らせ、文型について確かめる。	【書】読み取ったことを元にして前後の語句や文のつながりに気をつけてクイズの「もんだい」と「こたえ」を書いている。 (ひみつカード・クイズカード)
	8	・クイズカードを書く。	○「どのように」「どうやって」など答えが単純なものでない例をとりあげ紹介する。	
	9	・クイズ大会をする。		
	10	・クイズの作り方についてまとめる。		
第三次	11	<b>動物について調べ、「どうぶつのひみつクイズ」をする</b> ・興味のある動物について書かれた本を探す。	○何(動物)の何(観点)について自分が調べたいのかワークシートに書かせる。	【読】観点を意識し自分の知りたいことに関連する言葉や文を見つけながら読んでいく。(行動観察・付箋) 【書】読み取ったことを元にして前後の語句や文のつながりに気をつけてクイズの「もんだい」と「こたえ」を書いている。 (ひみつカード・クイズカード) 【言】「は」「へ」「を」を正しく使ってクイズを書いている。 (ひみつカード・クイズカード)
	12 (本時)	・はじめて知ったことや驚いたことに付箋をはる。	◎付箋の貼り方を知らせる ○驚いたことやすごいだと思ったことがクイズの答えになることを伝える。 ○情報の探し方を示す。	
	13	・ひみつカードを書く。	○クイズが作りにくい児童には一緒に考える。	
	14	・クイズカードを書く。		
	15			

16	どうぶつクイズ大会を行う	○観点を意識しどこに何が書いてあるか考えながら読むように伝える。	【読】本の中から答えとなる部分を正しく読み取っている。 (クイズカード)
17	・クイズを出し合い解答用紙に書く。	○目次や見出しをヒントにどこに何が書いてあるか一緒に読む。	
18	・クイズ集を作り、学習を振り返る。		

6. 本時の学習 (12/18)

(1) ねらい

- ・動物の本を読み、自分が知りたいひみつを本の中から探して読んでいる。 (読むこと)

(2) 学習過程

学 習 活 動	指導上の留意点や支援 (担任○司書教諭◎学校司書☆) ★評価規準
1. 学習のめあてを確認する。 動物のひみつを見つけて、 友だちと伝え合おう	☆児童の実態にあった本や図鑑を一人一冊用意しておく。 ○「どうぶつのひみつクイズ」を作るという目的を確かめ、そのために本を読んで調べるということを押さえる。 ○ワークシートで自分のめあてを確認する。
2. ひみつの調べ方を確認する。	◎本の中から探したいページを見つける方法や、見つけたひみつに付箋を貼ること、調べたいことが載っていない時に他の本から探してみることなどの、探し方の例を伝え板書しておく。
3. ひみつを調べる。	○◎読み取りの難しい児童には、一緒に読んだり、クイズにしやすい文章と一緒に探したりする。 ★自分が知りたいひみつを本の中から探して読んでいる。(読むこと) (行動観察・付箋)
4. 調べたひみつを友達と伝え合う。	○話し手は、本を開いて文や写真を指差しながら、自分が調べたひみつを話すようにする。 ○聞き手はうなずいて聞き、「わかったよ。」など感想を言うようにさせる。 ○◎どのように交流するかデモンストレーションをして紹介する。
5. 本時の学習をふりかえり次時の予告を聞く。	○次時は付箋を貼った所をもとに、ひみつカードに書くことを知らせる。

(3) 研究の視点

- ・調べ方の例を示したことは、児童が必要な情報を見つけるための支援として有効だったか。
- ・調べたひみつを、ペアで伝え合ったことは、動物のひみつの理解を確かなものにするのに有効だったか。